

内部監査のプロが書く監査意見と それを支える監査アプローチ

～わかりにくい内部監査の保証の意見表明とそれを支える監査作業の在り方をわかりやすく解説

「内部監査実務マスター・コース」〔第2回開催分（全9回）〕

- 日時● 2019年10月3日（木）14:00～17:00
- 会場● 東京・四ツ谷 『主婦会館プラザエフ』
- 講師● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人・米国公認会計士（現在 inactive）

会計監査を約20年続ける中、アンダーセンでは監査アプローチの研修・普及活動や公認会計士協会本部の活動（国際委員会副委員長、会計制度委員会副委員長、監査基準委員会委員他）にも専念。続く10余年は、内部監査、内部統制、リスクマネジメント、不正調査に特化し、アンダーセン消滅後は朝日監査法人代表社員を辞してPwC（中央青山監査法人）に移り代表社員も務め、J-SOXの制度化を前に復帰した新日本監査法人（E&Y）で内部統制支援本部統括部長、ビジネスリスクサービス部長、FIDS（不正対策・係争サポート）部長等を歴任。2012年、シニアパートナーを早期退任し、ボルボ・グループで日本の内部監査統括を務め、同グループ会社UDトラックス㈱の監査役を今年まで続け、現在、藤井範彰公認会計士事務所として内部監査や不正対応・ガバナンス関連の講演や研修及び執筆活動に従事。

【最近の著書】「内部監査のプロが書く監査報告書の指摘事項と改善提案」同文館出版 2016年で2017年度日本内部監査協会青木賞受賞。他にも著書「内部監査の課題解決法20」2012年税務経理協会、論文「内部監査のアシュアランスの本質論」日本内部監査協会月刊監査研究2018年7月号、「内部監査報告書の本質論と実務対応」同2017年5月号等多数。

●プログラム●

■講義／内部監査のプロが書く監査意見とそれを支える監査アプローチ<14:00-16:30>

一般に監査の中心は保証業務（アシュアランス）にあると考えられ、その結論は監査意見として監査報告書で報告されます。しかし実務ではロジカルな監査意見になっていない例もよく見かけます。内部監査は社内監査なので社内で問題にならなければそれで良いという考え方もあるでしょう。しかし、監査の根幹をなすアシュアランスについて、その専門部署である監査部がその基本がわかっていないとすれば、あまりに恥ずかしいことです。また監査のプロと言っても内部監査には公認会計士の監査には無い独自の論点と実務展開の仕方があって、IIAにも指針はありますが、これだけで十分とは思えません。今回はアシュアランスにおける監査意見の考え方と実務に使える標準的な文例を提示すると共に、その前提となる典型的な内部監査のアプローチを紹介します。

1. 監査の価値を決めるコンサルとアシュアランスの実務への落とし込み
2. 内部監査報告書の監査意見の標準類型と
それぞれの考え方および報告書の全体様式
3. 監査の内容に整合した改善提案型の内部監査アプローチのデザイン

■講義をベースとしたディスカッション&総括コメント<16:30-17:00>

～自由討議・意見交換の中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

●参加要領●

●受講料：1名（資料代含む）

正会員	32,400円	一般	35,640円
-----	---------	----	---------

〔本体価格 30,000円 本体価格 33,000円〕

*会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認ください。<http://www.bri.or.jp>

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者のご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先（一社）企業研究会

担当) 居代 E-mail: ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麴町 5-7-2

TEL 080-2102-1604 / FAX 03-5215-0951

190188	2019 10/3 内部監査実務マスター・コース		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			

★本コースの全体プログラムは、弊会ホームページをご参照ください。
「企業研究会 内部監査実務マスター・コース」